

## 玉掛作業基準

項 目	基 準	急 所
事前準備		
01 つるべき物について	<p>吊る荷物の重量を目測する。</p> <p>荷物の重心を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重量の判断を誤らないように。</li> <li>・不明の時は監督者に聞く。</li> <li>・クレーン等の定格荷重を超えて吊ってはならない。</li> <li>・荷物の重心は正確に判断する。</li> <li>・重心が荷の上方に有るものや、前後左右に片寄っているものは特に注意する。</li> </ul>
02 玉掛用具について	<p>玉掛用具の準備をする。</p> <p>数個を同時に吊る時。</p> <p>特殊な形状のものは、それに適した吊具を準備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物の重量、形状に応じたワイヤ等を準備する。</li> <li>・玉掛方法、台付の位置を考えて準備する。</li> <li>・4本吊を原則としてワイヤを準備する。</li> <li>・吊角度は60°以内となるようにワイヤを準備する。</li> <li>・末端にアイの無いワイヤロープは使用しない。</li> <li>・縛るか、容器を用いて落ちないように考えて吊具を準備する。</li> <li>・目通し吊（カンザシ）は避ける。</li> </ul>
03 運搬の経路について	<p>運搬経路の障害物の有無を確認する。</p> <p>運搬経路に他の作業員、通行人の進入禁止の処置をする。</p> <p>複雑な経路の運搬にはクレーンの位置、合図者の位置を前以って決めておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吊荷の高さは床上2mを原則とする。</li> </ul>
巻き上げ作業		
01 合図と誘導	<p>クレーンを呼ぶ。</p> <p>巻き上げの合図をする。</p> <p>フックを誘導する。</p> <p>停止の合図をする。</p> <p>吊具を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転者によく見える位置から笛を吹き手を上げて呼ぶ。</li> <li>・合図は一人でする（腕章着用）。</li> <li>・合図動作は大きく明確にする。</li> <li>・片手で合図できない場合は笛を併用する。</li> <li>・屋外で見えにくい時は手旗を用いる。</li> <li>・荷の重心の上に</li> <li>・台付し易い高さで</li> <li>・破損、変形、ねじれ、適合性について調べる。</li> </ul>

玉掛作業基準

項 目	基 準	急 所
02 台付及びフックについて	<p>台付をする。</p> <p>フックに吊具を付ける。</p> <p>フックの位置を修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷の重量、重心を考える。</li> <li>・荷くずれを警戒する。</li> <li>・角には当て物をする。</li> <li>・4本吊を原則とする（一本吊をしてはならない）。</li> <li>・吊角度は60°以内とする。</li> <li>・ワイヤが滑らないことを確認する。</li> <li>・ワイヤーロープをねじらないようにする。</li> <li>・足元に気を付ける。</li> <li>・荷の重心の真上に、正確に。</li> </ul>
03 巻上げと走行	<p>少し巻上げる合図をする。</p> <p>一旦、停止の合図をする。</p> <p>待避する。</p> <p>巻上げの合図をする。</p> <p>停止の合図をする。</p> <p>目的の場所に誘導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転者の位置、動作を確かめる。</li> <li>・ワイヤーの位置が変わらぬように支える。</li> <li>・手足が挟まれないように徐々に巻上げる（逃場はあるか、足場は良いか確かめる）。</li> <li>・ワイヤーが張る寸前で合図する。</li> <li>・重心を吊っているか確かめる。</li> <li>・ワイヤーの張りは均等か確かめる。</li> <li>・周囲の状況を確認する。</li> <li>・当て物は正しく当たっているかを確認する。</li> <li>・不具合のときは吊り直す。</li> <li>・安全な場所に寄る。</li> <li>・周囲の状況を確認する。</li> <li>・付近の作業者にも注意する。</li> <li>・水平に吊れたかを、見る。</li> <li>・吊荷が他のものに当たらないかを注意する。</li> <li>・他の物に当たる場合は手鉤で直す。</li> <li>・吊荷の振れは手鉤で直す。</li> <li>・安全な高さで止める（床上2mが原則）。</li> <li>・行先を示して先行する。</li> <li>・巻上げ乍ら誘導してはならない。</li> </ul>

玉掛作業基準

項 目	基 準	急 所
巻下げ作業		
01 置場および誘導	<p>置き場を整理する。</p> <p>置き場に誘導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・置き場を片付けて広くする。</li> <li>・枕木を置く（充分の強度の物で、小さい物を積み重しない）。</li> <li>・前1項、2項は荷を吊上げる前に処置しておく。</li> <li>・置き場を指して先行する。</li> <li>・吊荷は頭上を通さない。</li> </ul>
02 巻下げ	<p>巻下げの合図をする。</p> <p>一旦、停止の合図をする。</p> <p>吊荷を置場の中心へと誘導する。</p> <p>巻下げの合図をする。</p> <p>一旦、停止の合図をする。</p> <p>巻下げの合図をして、ワイヤを緩める。</p> <p>停止の合図をする。</p> <p>吊具をはずす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吊荷が他の物に触れないことを見極める（足場や逃場を確かめておく）。</li> <li>・作業者は待避させる。</li> <li>・手の届く高さで停止する（枕木に近い方が良い）。</li> <li>・手鉤で振れを止める。</li> <li>・周囲の状況を確認する。</li> <li>・運転者と連絡を保ちながら。</li> <li>・吊荷が他の物に触れないことを確かめる（安全な位置で、運転者の位置を確かめて）。</li> <li>・危険な場合停止してやり直す。</li> <li>・置き方は良いか再確認する。</li> <li>・ワイヤが充分緩むまで（吊荷にフックが当たらぬようになる）。</li> <li>・荷崩れに注意する。</li> <li>・歯止めを確実にする。</li> <li>・置き方は良いか再確認する。</li> <li>・荷崩れ、倒れに注意する。</li> <li>・周囲の状況を考える。</li> </ul>
03 荷降し後に	<p>巻き上げの合図をする。</p> <p>停止の合図をする。</p> <p>クレーンを次ぎの場所に誘導する。</p> <p>降ろした物を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フックが他の物に当たらないか確認する。</li> <li>・安全な高さになってから（過巻注意）。</li> <li>・行先を指示して先行する。</li> <li>・作業終了後は所定の場所に。</li> <li>・物が安定するように注意する（手足が挟まれないように注意する）。</li> </ul>